



## 通常議員総会



冒頭で挨拶する八木会頭

6月1日午前11時より福井商工会議所ビルにて通常議員総会を開催。委任状提出者11名を含む89名が出席した。

開会にあたり八木会頭は、中東情勢悪化で世界のエネルギー供給網や石油由来製品の供給に深刻な影響が及んでいると述べた。4月下旬に会員事業所を対象に行った『中東情勢に関する影響調査』について「マイナスの影響がある」との回答が9割近くに達し、このうち7割を超える事業所が原材料・資材等の調達コスト上昇を懸念しており、更に供給体制の不安が景気後退につながる恐れが出始めていると紹介。そこで、福井商工会議所では会員事業所の資金繰りや、中東情勢悪化による影響を受けた企業の相談対応窓口として、3月23日に「中東情勢特別相談窓口」を設置したことを報告。県が主催する対策会議において、福井商工会議所をはじめ各業界・経済団体からの現状と先行き懸念の声を受け、中東情勢対策として県制度融資枠が新たに創設されたことなどを説明した。今後も動向を注視しつつ、企業活動の円滑な運営に必要な対応を行っていくと述べた。

また、北陸新幹線の「小浜・京都ルート」の今国会中での決定に向け

て、5月12日に石田知事や県選出の国会議員、沿線首長とともに国土交通省や与党プロジェクトチームに要請を行ったことを報告。北陸新幹線が大規模災害等におけるリダンダンシー機能（代替ルート）を担っていることを強調しつつ、北陸・関西地域の商工会議所で構成する「北陸・関西連携会議」においても「小浜・京都ルートの早期実現」が2年連続で決議されていることに触れ、引き続き北陸・関西の商工会議所と連携しながら取り組みを続けていく決意を示した。

この後、定款に基づき八木会頭を議長に議案審議に入った。第一号議案として藤川専務理事より令和7年度の事業報告案について説明。第二号議案では中小企業総合支援センターの小谷所長より令和7年度経営発達支援計画の実施結果について報告が行われた。最後に第三号議案として、寺川理事より令和7年度収支決算案の説明が行われた。これを受けて、前田定和監事（株）北陸銀行福井地区事業部執行役員）から監査報告がなされ、各議案とも原案通り承認された。

### 令和7年度 収支決算概要表

(令和7年4月1日～令和8年3月31日) (単位：千円)

収入の部 科目	事業会計合計	
	決算額	構成比
1. 会費・負担金収入	172,629	11.3%
2. 交付金	567,935	37.1%
3. 事業収入	277,182	18.1%
4. 賃貸・共益収入	145,270	9.5%
5. 管理受託費	45,055	2.9%
6. その他（雑収入）	11,278	0.7%
7. 営繕積立金取崩	10,000	0.7%
8. 繰入金	66,095	4.3%
9. 前期繰越金	237,438	15.5%
合計	1,532,881	100.0%

(単位：千円)

支出の部 科目	事業会計合計	
	決算額	構成比
1. 事業費	417,881	27.3%
2. 給与費	283,103	18.5%
3. 福利厚生	52,335	3.4%
4. 退職給付	23,008	1.5%
5. 事務管理費	214,345	14.0%
6. 営繕費	43,162	2.8%
7. 公租公課	83,953	5.5%
8. 減価償却引当金	39,260	2.6%
9. 営繕引当金	45,000	2.9%
10. 運営準備積立金	15,000	1.0%
11. 出資金支出	10,000	0.7%
12. 繰出金（負担金）	66,095	4.3%
13. 次期繰越金	239,739	15.6%
合計	1,532,881	100.0%

※端数処理により合計値が合わないことがある